



2022年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月7日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2022年7月15日 配当支払開始予定日 2022年8月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年11月期第2四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第2四半期	207,523	4.3	14,241	△1.8	14,964	△1.4	8,889	△7.6
2021年11月期第2四半期	198,879	△24.4	14,499	29.5	15,183	33.4	9,621	70.5

（注）包括利益 2022年11月期第2四半期 14,223百万円（2.3％） 2021年11月期第2四半期 13,907百万円（92.3％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第2四半期	63.95	—
2021年11月期第2四半期	67.86	—

（注）2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年11月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第2四半期	381,068	279,564	66.6
2021年11月期	381,003	269,301	64.5

（参考）自己資本 2022年11月期第2四半期 253,835百万円 2021年11月期 245,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	20.00	—	27.00	47.00
2022年11月期	—	20.00	—	—	—
2022年11月期（予想）	—	—	—	27.00	47.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	5.6	26,000	△7.0	27,700	△6.7	15,700	△12.8	112.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年11月期2Q	141,500,000 株	2021年11月期	141,500,000 株
② 期末自己株式数	2022年11月期2Q	2,495,661 株	2021年11月期	2,495,090 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年11月期2Q	139,004,595 株	2021年11月期2Q	141,790,861 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症や国際的な穀物相場高騰による原料価格の上昇などの影響を受ける中、国内では市場担当制を活かしお客様の多様化するニーズに対応するとともに原料相場に左右されない強い体質への転換に取り組んでいます。海外では、中国・東南アジア・北米を中心に、それぞれの地域の食文化への浸透を加速させ、成長ドライバーとして拡大を進めています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外での売上伸長に加え、業務用での外食需要減少影響が前年度より回復したことにより増収となりました。営業利益は、売上増加や価格改定効果があったものの主原料高騰等による影響を受け減益となりました。経常利益は営業利益の減少により減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年度に計上した生産再編に伴う資産売却益の減少などにより減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	198,879	207,523	8,644	4.3%
営業利益	14,499	14,241	△258	△1.8%
経常利益	15,183	14,964	△219	△1.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,621	8,889	△732	△7.6%

(注) 2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	86,016	85,691	△325	△0.4%
業務用	72,422	75,889	3,467	4.8%
海外	24,738	29,819	5,081	20.5%
フルーツ ソリューション	8,624	8,404	△220	△2.6%
ファインケミカル	4,351	5,048	697	16.0%
共通	2,726	2,670	△56	△2.1%
合計	198,879	207,523	8,644	4.3%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	9,728	7,444	△2,284	△23.5%
業務用	2,677	4,137	1,460	54.5%
海外	3,706	4,097	391	10.6%
フルーツ ソリューション	393	275	△118	△30.0%
ファインケミカル	87	505	418	480.5%
共通	645	673	28	4.3%
全社費用	△2,740	△2,892	△152	—
合計	14,499	14,241	△258	△1.8%

<市販用>

- ・惣菜やカット野菜は堅調に推移したが、価格改定により調味料の需要が減少し減収
- ・主原料高騰による影響を受け減益

<業務用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による外食需要減少影響が前年度より回復し増収
- ・主原料高騰等による影響を受けたものの、価格改定効果や付加価値品の伸長により増益

<海外>

- ・東南アジアや北米が好調に推移し増収
- ・主原料高騰による影響を受けたものの、売上増加や付加価値品の伸長により増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドの価格改定と需要喚起策を進めたものの、前年の内食需要の反動もあり減収減益

<ファインケミカル>

- ・ヒアルロン酸の原料販売や通信販売が好調に推移し増収増益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の販売減少により減収となったが、売上総利益の改善などにより増益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,810億68百万円と前連結会計年度末に比べ65百万円増加
主に現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加による
- ・負債は、1,015億4百万円と前連結会計年度末に比べ101億98百万円減少
主に支払手形及び買掛金の増加、短期借入金、流動負債のその他に含まれる未払金の減少による
- ・純資産は、2,795億64百万円と前連結会計年度末に比べ102億63百万円増加
主に利益剰余金、為替換算調整勘定、非支配株主持分の増加による

◇ キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、604億68百万円と前連結会計年度末に比べ62億34百万円減少
各キャッシュ・フローの状況
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の増加、棚卸資産の増加、仕入債務の増加、法人税等の支払いなどにより133億1百万円の収入
(前年同期は198億5百万円の収入)
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、無形固定資産の取得による支出などにより75億34百万円の支出
(前年同期は146億34百万円の支出)
財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出、配当金の支払いなどにより139億2百万円の支出
(前年同期は110億13百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2022年1月11日に公表しました2022年11月期の連結業績予想は、本日（2022年7月7日）発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2022年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。修正計画の詳細については、「2022年11月期 第2四半期決算補足説明資料」に記載していません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,343	52,185
受取手形及び売掛金	56,875	59,790
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	18,277	19,502
仕掛品	1,369	904
原材料及び貯蔵品	10,419	12,549
その他	2,303	2,697
貸倒引当金	△137	△105
流動資産合計	157,451	157,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	157,939	159,311
減価償却累計額	△93,161	△94,560
建物及び構築物（純額）	64,777	64,750
機械装置及び運搬具	149,308	150,188
減価償却累計額	△106,897	△108,972
機械装置及び運搬具（純額）	42,411	41,215
土地	30,850	30,914
建設仮勘定	2,488	2,422
その他	18,060	18,336
減価償却累計額	△12,054	△12,512
その他（純額）	6,005	5,824
有形固定資産合計	146,532	145,127
無形固定資産		
のれん	552	455
その他	12,751	13,914
無形固定資産合計	13,303	14,370
投資その他の資産		
投資有価証券	43,629	43,053
退職給付に係る資産	11,128	12,028
その他	9,078	9,082
貸倒引当金	△120	△119
投資その他の資産合計	63,715	64,044
固定資産合計	223,552	223,543
資産合計	381,003	381,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,015	30,918
短期借入金	11,591	2,136
未払法人税等	4,182	3,655
引当金	1,528	2,342
その他	25,881	22,508
流動負債合計	71,199	61,561
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,356	16,213
退職給付に係る負債	2,750	2,836
資産除去債務	221	223
その他	11,173	10,670
固定負債合計	40,502	39,943
負債合計	111,702	101,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,632	28,631
利益剰余金	194,015	199,151
自己株式	△5,838	△5,839
株主資本合計	240,913	246,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,690	7,948
繰延ヘッジ損益	8	56
為替換算調整勘定	△962	2,361
退職給付に係る調整累計額	△3,008	△2,577
その他の包括利益累計額合計	4,727	7,788
非支配株主持分	23,660	25,728
純資産合計	269,301	279,564
負債純資産合計	381,003	381,068

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
売上高	198,879	207,523
売上原価	137,045	144,552
売上総利益	61,833	62,970
販売費及び一般管理費	47,334	48,729
営業利益	14,499	14,241
営業外収益		
受取利息	54	107
受取配当金	207	234
持分法による投資利益	421	439
その他	392	306
営業外収益合計	1,075	1,088
営業外費用		
支払利息	122	123
その他	268	241
営業外費用合計	390	365
経常利益	15,183	14,964
特別利益		
投資有価証券売却益	1	252
固定資産売却益	440	5
関係会社株式売却益	291	—
その他	43	0
特別利益合計	777	258
特別損失		
固定資産除却損	338	482
その他	84	111
特別損失合計	422	593
税金等調整前四半期純利益	15,538	14,628
法人税等	4,786	4,554
四半期純利益	10,751	10,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,130	1,184
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,621	8,889

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	10,751	10,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	△730
繰延ヘッジ損益	38	54
為替換算調整勘定	2,435	4,105
退職給付に係る調整額	280	467
持分法適用会社に対する持分相当額	239	252
その他の包括利益合計	3,155	4,149
四半期包括利益	13,907	14,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,113	11,949
非支配株主に係る四半期包括利益	1,794	2,273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,538	14,628
減価償却費	7,522	7,857
のれん償却額	99	96
持分法による投資損益 (△は益)	△421	△439
引当金の増減額 (△は減少)	1,067	685
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△127	85
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	369	△900
受取利息及び受取配当金	△261	△342
支払利息	122	123
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△252
関係会社株式売却損益 (△は益)	△291	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△37	479
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,640	△2,219
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,233	△2,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,924	2,503
未払金の増減額 (△は減少)	△1,103	△1,859
その他	1,718	64
小計	23,243	18,156
利息及び配当金の受取額	426	484
利息の支払額	△126	△121
法人税等の支払額	△3,737	△5,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,805	13,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,692	△5,428
無形固定資産の取得による支出	△2,383	△2,233
投資有価証券の取得による支出	△8	△109
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△8,801	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	23	71
長期貸付けによる支出	△1	△55
長期貸付金の回収による収入	15	63
定期預金の預入による支出	—	△1,038
定期預金の払戻による収入	—	1,141
その他	212	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,634	△7,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△116	495
長期借入れによる収入	500	15
長期借入金の返済による支出	△1,142	△10,158
配当金の支払額	△2,860	△3,753
非支配株主への配当金の支払額	△322	△652
自己株式の取得による支出	△7,018	△1
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	441
引出制限付預金の引出による収入	271	—
その他	△324	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,013	△13,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	973	1,900
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,868	△6,234
現金及び現金同等物の期首残高	65,777	66,703
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	47	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,955	60,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

当社グループでは、商品または製品の国内販売において「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品または製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の引当金科目に表示していた「売上割戻引当金」は、第1四半期連結会計期間から返金負債として流動負債の「その他」に含めて表示しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（企業結合等関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2020年11月2日に行われた当社の連結子会社（現持分法適用関連会社）である株式会社キユーソー流通システムとKIAT ANANDA グループ（PT Kiat Ananda Cold Storage、PT Ananda Solusindo、PT Manggala Kiat Ananda および PT Trans Kontainer Solusindo）の企業結合について、前々連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しました。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されています。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツソリューション	ファインケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
外部顧客への 売上高	86,016	72,422	24,738	8,624	4,351	2,726	198,879	—	198,879
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	374	2,507	248	87	229	5,452	8,901	△8,901	—
計	86,391	74,930	24,986	8,712	4,580	8,179	207,781	△8,901	198,879
セグメント利益	9,728	2,677	3,706	393	87	645	17,240	△2,740	14,499

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,740百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	85,691	75,889	29,819	8,404	5,048	2,670	207,523	—	207,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	85,691	75,889	29,819	8,404	5,048	2,670	207,523	—	207,523
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	392	2,451	1,000	108	165	5,870	9,988	△9,988	—
計	86,083	78,340	30,819	8,512	5,213	8,540	217,511	△9,988	207,523
セグメント利益	7,444	4,137	4,097	275	505	673	17,134	△2,892	14,241

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,892百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用しています。これによる各報告セグメントへの影響は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2022 年 11 月期
第2四半期
決算補足説明資料

2022 年7月7日

キューピー株式会社

証券コード: 2809

目次

1. セグメント別 売上高・営業利益の内訳	1
2. 営業利益の増減要因	2
3. 国内サラダ調味料の業態別販売量および金額(キューピー株式会社)	2
4. 為替レート(期中平均為替レート)	2
5. 主原料相場の推移	2
6. 設備投資と主要な販売費・一般管理費	3
7. 営業外損益・特別損益の概要	3
8. 貸借対照表の概要	3
9. キャッシュ・フローの概要	4
10. サステナビリティ目標の状況	4
11. 2022年11月期 通期計画	5
12. 主要な経営指標等の推移	6

■本資料の記載について

- ・ 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入しています。
- ・ 2022年度通期計画は、2022年7月7日発表の計画数値を示しています。
- ・ 海外の上期の数値は10月～3月が対象となります。
2022年度上期の前年差には、為替影響の売上高+23億円、営業利益+3億円、
2022年度通期計画の前年差には、為替影響の売上高+71億円、営業利益+8億円
が含まれています。

1. セグメント別 売上高・営業利益の内訳

売上高 (億円)	2021 年度						2022 年度						増減					
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期 計画	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期
市販用	409	451	860	441	425	1,727	426	430	857			1,757	+18	△21	△3			+30
調味料	165	189	354	174	159	687	176	164	339			694	+11	△25	△15			+7
惣菜	141	153	295	158	157	609	149	159	308			626	+8	+5	+13			+17
カット野菜	65	68	132	72	72	277	65	69	134			284	+1	+1	+2			+7
その他	38	41	79	37	37	153	36	39	76			153	△1	△2	△4			△0
業務用	339	386	724	386	388	1,498	360	399	759			1,557	+21	+13	+35			+59
調味料	96	108	203	105	109	418	103	115	218			453	+7	+8	+15			+35
タマゴ	201	232	433	232	232	898	215	243	458			936	+14	+11	+25			+38
その他	41	46	88	48	46	182	41	41	83			168	+0	△5	△5			△14
海外	121	126	247	146	141	534	143	155	298			657	+22	+29	+51			+123
中国	50	58	107	74	66	247	61	65	126			290	+11	+7	+19			+43
東南アジア	33	32	65	34	34	133	40	42	82			177	+7	+10	+17			+44
北米	24	24	49	28	27	103	27	33	60			134	+3	+8	+11			+31
その他	14	12	27	10	14	50	15	16	31			56	+1	+3	+4			+6
フルーツ ソリューション	38	48	86	43	39	169	37	47	84			173	△1	△1	△2			+4
ファインケミカル	19	24	44	21	23	88	25	26	50			100	+5	+2	+7			+12
共通	14	13	27	13	15	55	14	13	27			56	△0	△0	△1			+1
合計	941	1,048	1,989	1,050	1,032	4,070	1,005	1,070	2,075			4,300	+64	+22	+86			+230

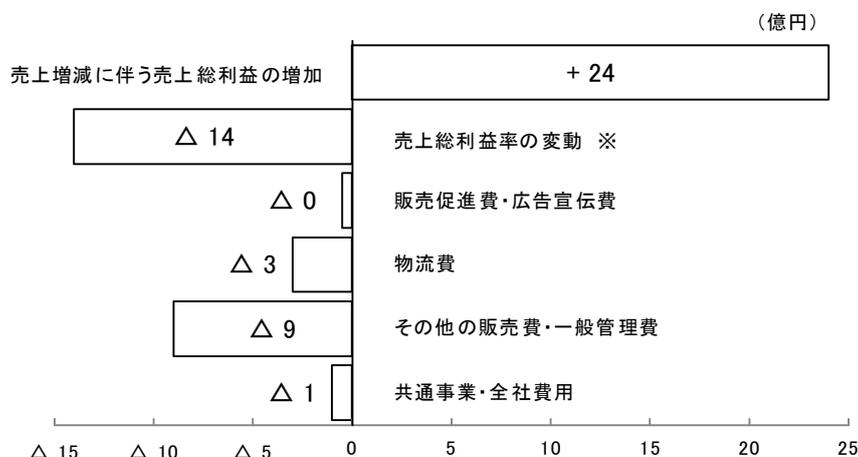
営業利益 (億円)	2021 年度						2022 年度						増減					
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期 計画	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	上期 (12-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期
市販用	42	56	97	43	32	172	40	34	74			128	△1	△21	△23			△44
調味料	30	39	69	28	24	122	29	20	49			79	△2	△19	△21			△43
惣菜	7	10	17	8	5	30	7	9	17			31	+1	△1	△0			+1
カット野菜	3	5	8	6	4	17	3	5	8			17	△0	△0	△0			△0
その他	1	2	3	1	△1	3	1	0	1			1	△0	△2	△2			△2
業務用	15	12	27	14	22	63	18	24	41			76	+3	+12	+15			+13
調味料	6	9	15	8	11	34	6	9	14			23	△0	△0	△0			△11
タマゴ	9	6	15	6	11	33	9	14	23			48	+0	+8	+8			+15
その他	△0	△3	△3	0	△1	△4	3	1	4			5	+3	+4	+7			+9
海外	19	18	37	21	14	72	19	22	41			84	+0	+4	+4			+12
中国	9	9	18	13	6	37	7	8	16			35	△1	△1	△2			△2
東南アジア	5	4	9	4	3	16	6	6	12			22	+1	+2	+3			+6
北米	3	1	4	3	4	11	3	3	6			14	△0	+2	+2			+3
その他	2	3	6	2	1	9	3	4	7			13	+1	+1	+2			+4
フルーツ ソリューション	0	4	4	2	1	7	0	2	3			7	+0	△1	△1			△0
ファインケミカル	△2	3	1	5	5	11	0	5	5			14	+2	+2	+4			+3
共通	3	4	6	3	3	13	4	3	7			13	+1	△1	+0			△0
全社費用	△13	△14	△27	△15	△17	△59	△14	△15	△29			△62	△1	△1	△2			△3
合計	63	82	145	74	61	280	67	75	142			260	+4	△7	△3			△20

営業利益率	6.7%	7.8%	7.3%	7.1%	5.9%	6.9%	6.7%	7.0%	6.9%			6.0%
--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--	--	-------------

※海外売上高伸長率(現地通貨ベース) 2022 年度上期 11%

2. 営業利益の増減要因

(億円)	2021年度 上期	2022年度 上期	増減
営業利益	145	142	△ 3



主原料高騰影響 △ 40 億円		
原料別	主原料(調味料)	△ 42
	鶏卵	+ 2
	合計	△ 40
セグメント別	市販用	△ 20
	業務用	△ 8
	海外	△ 12

※主原料高騰影響は売上総利益率の変動に含まれます。

3. 国内サラダ調味料の業態別販売量および金額(キューピー株式会社)

		2020年度 上期	2021年度 上期	2022年度 上期	前年差	増減率
家庭用	販売量 (千 t)	66	69	63	△ 6	△ 9%
	金額 (億円)	324	348	334	△ 14	△ 4%
業務用	販売量 (千 t)	45	45	46	+ 1	+ 2%
	金額 (億円)	168	174	186	+ 13	+ 7%
輸出	販売量 (千 t)	3	4	5	+ 1	+ 32%
	金額 (億円)	12	17	24	+ 7	+ 41%

※輸出は、家庭用・業務用を含んでいます。

4. 為替レート(期中平均為替レート)

(円)	2020年度 上期	2021年度 上期	2022年度 上期	2022年度 通期計画
米国ドル(1\$当たり)	109	104	115	123
人民元(1元当たり)	16	16	18	19

5. 主原料相場の推移

(円/kg)	2020年度				2021年度				2022年度				通期 計画
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	
加工油脂向け 大豆・菜種白絞油 日経ローリー相場平均価格	242	248	251	248	253	266	303	352	361	373			396
全農東京 鶏卵相場 Mサイズ基準値	194	189	152	162	168	240	240	211	179	208			208

9. キャッシュ・フローの概要

(億円)	2021年度 上期	2022年度 上期	増減	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	198	133	△ 65	未払消費税等の増減額 △ 38 法人税等の支払額の増加 △ 15
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 146	△ 75	+ 71	有形固定資産の 取得による支出の増加 △ 17 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による支出の減少 + 88
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 110	△ 139	△ 29	長期借入金の返済による支出の増加 △ 90 自己株式の取得による支出の減少 + 70

10. サステナビリティ目標の状況

重点課題	取り組みテーマ	指標	2022年度 上期	2024年度 目標	2030年度 目標
食と健康 への貢献	健康寿命延伸への貢献	一人ひとりの食のパートナーとして ・1日当たりの野菜摂取量の目標値 350g の達成に貢献 ・たんぱく質の摂取に貢献するために卵の消費量アップを推進			
	子どもの心と体の 健康支援	私たちの活動で創る 子どもの笑顔の数 (2019年度からの累計)	23.8万人	40万人以上	100万人以上
資源の 有効活用・ 循環	食品ロスの 削減・有効活用	食品残さ削減率 (2015年度比)	41.3%	50%以上	65%以上
		野菜未利用部有効活用率 主要野菜:キャベツなど(当年)	74.4%	70%以上	90%以上
		商品廃棄量削減率 (2015年度比)	76.7%	60%以上	70%以上
	プラスチックの 削減・再利用	プラスチック排出量削減率 (2018年度比)	年1回算出	8%以上	30%以上
	水資源の 持続的利用	水使用量(原単位)削減率 (2020年度比)	0.7%	3%以上	10%以上
気候変動 への対応	CO ₂ 排出量の 削減	CO ₂ 排出量削減率 (2013年度比)	25.2%	30%以上	50%以上
持続可能な 調達	持続可能な 調達の推進	お取引先との協働によって 「持続可能な調達のための基本方針」を推進			
人権の尊重	人権の尊重	ビジネスに関わるすべての人の人権を尊重するために 「キューピーグループ 人権方針」を推進			

※ 「食品残さ削減率」の指標には「野菜未利用部有効活用率」も含まれています。

※ サステナビリティ目標は国内の数値となっています。

11. 2022年11月期 通期計画

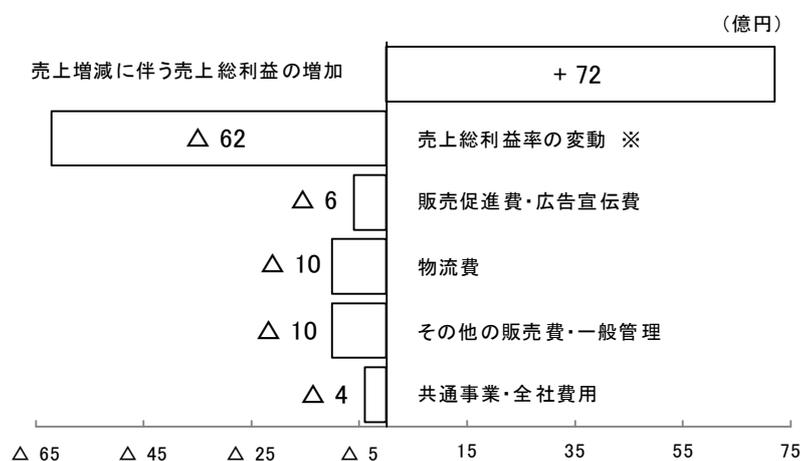
■業績予想

(億円)		2021年度	2022年度 通期計画	増減	増減率
売上高		4,070	4,300	+ 230	+ 5.6%
営業利益		280	260	△ 20	△ 7.0%
経常利益		297	277	△ 20	△ 6.7%
親会社株主に帰属する当期純利益		180	157	△ 23	△ 12.8%
ROA		7.1%	7.2%	+ 0.1%	—
ROE		7.4%	6.2%	△ 1.2%	—
営業利益率		6.9%	6.0%	△ 0.9%	—
海外売上高伸長率 (現地通貨ベース)		19%	10%	△ 9%	—
為替	米国ドル(1\$当たり)	107円	123円	+ 16円	—
	人民元 (1元当たり)	16円	19円	+ 3円	—
相場	加工油脂向け 大豆・菜種白絞油 日経ローリー相場平均価格	294円	396円	+ 102円	—
	全農東京 鶏卵相場 Mサイズ基準値	215円	208円	△ 7円	—

※ 海外売上高伸長率は2020年7月に株式譲渡した北米タマゴ事業の業績を除いて算出しています。

■営業利益の増減要因

(億円)	2021年度	2022年度 通期計画	増減
営業利益	280	260	△ 20



主原料高騰影響 △ 110 億円		
原料別	主原料(調味料)	△ 113
	鶏卵	+ 3
	合計	△ 110
セグメント別	市販用	△ 59
	業務用	△ 26
	海外	△ 25

※主原料高騰影響は売上総利益率の変動に含まれます。

12. 主要な経営指標等の推移

		2020年度 上期	2021年度 上期	2022年度 上期	2021年度
売上高	※1 (百万円)	193,219	198,879	207,523	407,039
営業利益	※1 (百万円)	10,088	14,499	14,241	27,972
営業利益率	※1 (%)	5.2	7.3	6.9	6.9
経常利益	※1,2 (百万円)	10,587	15,183	14,964	29,698
経常利益率	※1,2 (%)	5.5	7.6	7.2	7.3
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	※1,2 (百万円)	5,643	9,621	8,889	18,014
当期(四半期)純利益率	※1,2 (%)	2.9	4.8	4.3	4.4
純資産額	※2 (百万円)	277,031	265,590	279,564	269,301
総資産額	※2 (百万円)	440,217	376,646	381,068	381,003
自己資本	※2 (百万円)	236,391	241,953	253,835	245,640
自己資本比率	※2 (%)	53.7	64.2	66.6	64.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	16,748	19,805	13,301	38,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 14,773	△ 14,634	△ 7,534	△ 20,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 5,461	△ 11,013	△ 13,902	△ 18,701
フリーキャッシュ・フロー	※3 (百万円)	1,975	5,170	5,766	18,255
現金及び現金同等物の 期末(四半期末)残高	(百万円)	53,268	60,955	60,468	66,703
有利子負債	(百万円)	70,315	44,097	32,520	42,257
1株当たり純資産額	※2 (円)	1,652.61	1,725.66	1,826.10	1,767.14
1株当たり当期(四半期)純利益	※2 (円)	39.45	67.86	63.95	128.17
1株当たりフリーキャッシュ・フロー	(円)	13.81	36.47	41.49	129.88
1株当たり年間(中間)配当額	(円)	20.0	20.0	20.0	47.0
期末(四半期末)株価	(円)	2,109	2,505	2,127	2,309

※1 2020年度実績は、物流事業を除いた遡及適用後の数値を記載しています。

※2 2021年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年度上期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

※3 フリーキャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー